

# 熊本矯正歯科研究会

## NEWS LETTER

事務局:きょうごく矯正歯科・小児歯科クリニック内  
京極和彦  
〒862-0963 熊本市南区出仲間  
TEL 096-334-6055 FAX 096-334-6057  
E-Mail: k.kyougoku@jcom.zag.ne.jp

平成 29 年度 (秋季)



熊本矯正歯科研究会 総会・講演会 (H29. 6. 3 アークホテル 熊本)

熊本矯正歯科研究会によせて

熊本矯正歯科研究会 会長 山部耕一郎

9月になり、暑さも和らぎましたが、日中はまだ蒸し暑さも残るこの頃です。会員の先生方におかれましてはご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。11月の特別講演には、浦野智先生をお迎えします。浦野先生は大阪で「堂島ペリオインプラントセンター・浦野歯科診療所」の院長としてご開業の傍ら、日本臨床歯周病学会の理事長としてもご活躍中です。熊本地震がなければ開催されるはずであった「九州矯正学会熊本大会」で特別講師をお願いしていた先生です。矯正治療と歯周治療は相反する側面があると、私は学生の頃に習った思い出がありますが、今回のご講演では歯周組織の健全性を考慮した矯正治療についての示唆が得られるものと期待しています。熊本矯正歯科研究会の執行部としまして、今後ますます充実した内容で矯正臨床に携わる会員の先生方に、情報を提供して参りたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

## 平成 29 年度前期の主な活動

### ○ 第 11～14 回理事会

毎月一回のペースで執行部による理事会を行っております。2017 年 5 月 8 日に第 11 回、6 月 19 日に第 12 回、7 月 10 日に第 13 回、9 月 11 日に第 14 回理事会を開催致しました。

### ○ 平成 29 年度総会（2017 年 6 月 3 日）

アークホテル熊本にて、平成 29 年度評議員会、総会が開催され、評議員会には 7 名、総会には 16 名（役員・理事除く）の先生にご出席いただきました。委任状 44 名と合わせて計 60 名、総会員の 1/2 を超えていることから本会が成立し、議長に東正也先生、議事録署名人に赤尾浩彦先生・近藤俊輔先生が選出され、会務報告として総会が行われました。

#### 1) 報告事項

- ・ 総務、会計、ホームページ関連、広報について、それぞれ担当者から報告されました。

#### 2) 審議事項

- ・ 平成 28 年度決算の承認を求める件・・・平成 28 年度決算報告に対して賛成多数で承認を得ました。
- ・ 平成 29 年度予算案の承認を求める件・・・平成 29 年度予算案に対して賛成多数で承認を得ました。
- ・ 会則改正の承認を求める件・・・会則改正に対して賛成多数で承認を得ました。

#### 3) 協議事項

- ・ 九州矯正歯科学会熊本大会への協力体制について、本会がどのように関わるかについて。
- ・ 熊本矯正歯科研究会の今後の活動について。

上記 2 点について協議が行われました。



総会時の様子です。

評議員会・会に引き続き、会員発表と特別講演会が行われました。

### 会員発表 『当院で行っている口唇口蓋裂の矯正治療について』

歯 ならびの歯医者さん 院長 泉 朝望 先生



北区の熊本機能病院となりでご開業されていらっしゃる泉先生のご発表です。今回のご発表について急なご依頼にも関わらず、二つ返事でご快諾頂きました。クリニックのシステム、口唇口蓋裂症患者様の治療について、独自で工夫されていること、哺乳指導や腸骨移植の実施時期など、機能病院『国際唇裂口蓋裂センター』の歯科部門の立場からご講演いただきました。皆様、とても熱心に拝聴されておられました。

## 特別講演 「パラダイムが変わるとき、何が起ころのか？」

新しいパラダイム（治療技術）の中に身を置くために考えておくべきこと

医療法人スマイル スマイル矯正歯科クリニック 小澤 奏 先生



愛媛県松山市で矯正専門医院としてご開業されている小澤先生にご講演いただきました。矯正治療のパラダイムについて、ご自身および自院の歴史を振り返り、苦労を重ねながら現在のスタイルを築きあげられたこと、時に哲学的なコメントを交えながら御講話いただきました。

現代の矯正治療はパラダイムとイノベーションを繰り返しながら変化し続けており、デジタル技術を存分に駆使した診断の必要性、矯正治療の本質は歯の寿命を延ばす為に行われるべきであることについて熱く語られ、会場にいた会員の先生方も皆、楽しいお話に巻き込まれていました。

## 懇親会スナップ



平成 29 月 11 月 4 日 熊本矯正歯科研究会 講演会・忘年会にて、歯周治療に於いて多方面でご活躍中の浦野智先生に御講話を賜ります。会員の皆様にも大変興味深い講演になるものと、理事会一同大変期待しております。スタッフお誘い合わせの上ぜひご参加くださいませ。



### 浦野 智 先生

#### 略歴

1988 年 大阪歯科大学 卒業

1992 年 医療法人貴和会歯科診療所 勤務  
小野善弘先生、中村公雄先生に師事

1999 年 大阪市北区にて開業

#### 所属

日本臨床歯周病学会 理事長 指導医

アメリカ歯周病学会

日本歯周病学会

JIADS 理事長

#### 講演タイトル

### 「成人矯正を安全に行う上で必要なペリオの考え」

近年、医療に対する国民の要望は疾病に対する治療のみだけでなく、さらなる快適さ（QOL）の向上まで求めるようになってきた。なかでも「審美性」に対する要求は年々高まり、その点からも成人に対する矯正治療の必要性が認識されるようになってきている。また、歯列矯正を行うことで、歯および周囲組織の「清掃性」も向上し、将来的なカリエスや歯周病という「疾病の予防」という観点からも、成人矯正は広く理解されるようになってきた。

しかしその一方で、小児矯正とは異なり成人特有の問題点に遭遇することもある。何らかの理由で抜歯された結果、歯列に欠損があったり、歯周病による支持組織の破壊を伴う様な場合が、それにあたると思われる。また、社会生活上の問題として、治療期間もそのひとつと考えられる。これらの問題を解決する方法として、以前からコルチコトミーを併用した矯正治療が行われてきたが、2001年に Wilcko らにより、コルチコトミー矯正に歯周再生療法の概念を加えた矯正治療法、Periodontally Accelerated Osteogenic Orthodontics (PAOO) が紹介されたことにより、広く臨床応用されるようになってきた。しかしそれに伴い、術式や器具、材料の話題のみが「独り歩き」し、最も重要な診査・診断や適応症の選択が少しおろそかになってきているような感も否めない、と思われる。

今回、私の限られた臨床経験からではあるが、コルチコトミー矯正を再考し、少しでもご参加いただく先生方にとって参考になる見解を示すことができれば幸いである。

和数寄司館ホテル 〒860-0845 熊本県熊本市中央区上通町 7-35 TEL : 096-352-5101

17 : 00 ~ 19 : 00 講演会 (講演会後、すぐに集合写真を撮影致します)

19 : 00 ~ 21 : 00 忘年会・懇親会 (会費 : 7,000 円)

(編集 ; 広報担当理事 上村裕希)

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>

ニュースレターは熊本矯正歯科研究会ホームページからもご覧できます。自院のホームページをリンクご希望の先生がおられましたら、事務局までご連絡くださいませ。